

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市若松区赤岩町13番1号

団体名 北九州市公営競技局

代表者 上野 孝司

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	きたきゅうしゅうしこうえいきょうぎよく	
団体名	北九州市公営競技局	
(ふりがな)	うえの たかし	
代表者氏名	上野 孝司	
所在地	市内事業所	北九州市若松区 赤岩町13番1号
	主たる事業所	
事業概要	小倉競輪、ボートレース若松の健全な運営を行いながら、一般会計への繰出しを行い、北九州市財政に貢献する。	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	公務（他に分類されるものを除く）	
従業員数（企業のみ）	101～300人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kouei-kyougi/kouei-kouken.html https://www.wmb.jp/ （ボートレース若松） http://www.kokurakeirin.com/ （小倉競輪）	

連絡先

担当部署	北九州市公営競技局地域貢献室
担当者	北村 直美
電話番号	093-791-5010
メールアドレス	kouei-kouken@city.kitakyushu.lg.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	
				7.2	9.4	13.3		ゴール	指標
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> 小倉競輪アリーナ照明、ポートレース若松ナイター照明のLED化 小倉競輪パッケージエアコン改修 電力会社の再生可能エネルギー電力メニューを選択 使用するガソリンなどの燃料や、電力・ガスの使用量を検針票等で把握・記録 クールビズ・ウォームビズの推進 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
								13.3	
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> 紙、段ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)②
								ターゲット	具体的な取組
								12.5	
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労施設等で生産された物品を調達 省エネ・省資源を考慮したグリーン購入を実施 市内事業者を優先して調達 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール10	
								ターゲット	具体的な取組
								10.2	社会(1)オ
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> 公正かつ安定的なレース開催のための競技系設備の整備 ポートレース若松施設改修計画に環境技術を取り入れることを考えるため、北九大教授に講師を依頼し、勉強会を開催 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール11	
								ターゲット	具体的な取組
								11.3	社会(2)ウ
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 日本財団を通じた各種船舶関係事業や海難防止に関する事業の振興、海事思想の普及などの公益事業、その他さまざまな社会福祉活動や慈善事業及びその助成 JKAを通じた機械振興補助事業、公益増進補助事業 地方公共団体金融機構補助金により地方公共団体の財政の健全な運営、住民の福祉増進に寄与 地域交流施設「クレカ若松」の運営 わかわくらんど、ポルダリングパーク「レッド・ロック」の開館 バランスリースポンサー支援 子ども食堂「くれかきっちゃん」「どーむきっちゃん」 ベビーマッサージ教室 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール11	
								ターゲット	具体的な取組
								11.3	社会(2)ウ
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得率の目標値を設定 従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底 適法な36協定を締結し、所轄労働基準監督署へ届出 タイムカードや業務用PCの管理等により労働時間を正確に把握 在宅勤務、フレックスタイム、ノー残業デーなどの柔軟な勤務体制を実施 北九州イクボス同盟に加盟 育児・介護休業法に基づき就業規則に「子どもの看護休暇」を規定 妊娠中の従業員、介護に従事する従業員や障がい者を療養する従業員に対する短縮勤務制度を導入 従業員が介護離職をしないですむように、休職、復職、再雇用の制度を導入 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール10	
								ターゲット	具体的な取組
								10.2	社会(1)イ
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> 障がい者を積極採用し、その特性や経験が活かせる職場環境を整備 「パートタイム・有期雇用労働法」が求める同一労働・同一賃金を実施 パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施 従業員の人事評価を平等にするため、成果の達成度を重要視した評価制度を採用 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	
								ターゲット	具体的な取組
								8.5	社会(1)イ
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守 ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知 ハラスメントに対する相談窓口を設置 ハラスメントについての社内研修を実施 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	
								ターゲット	具体的な取組
								5.1	社会(1)イ
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> 感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施 従業員に対して、定期的に健康診断を実施 健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば産業医の面談指導を実施 労働安全衛生法の「事業者が購すべき快適な職場環境の形成のための措置」に関する指針に基づいた職場環境の整備 外部から講師を招き、職員の健康増進のための講座やエクササイズを実施 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール8	社会(3)①
								ターゲット	具体的な取組
								8.8	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> 高校生や大学生などと事業において協働し、事業に携わる機会を提供 職員の経営への参加意識を高め、職員の発案による事業実施を実現させるためのアイデア募集を実施 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	
								ターゲット	具体的な取組
								4.4	社会(1)イ
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> 北九州市の事務事業から暴力団を排除するための事務処理方針 北九州市個人情報保護条例・施行規則 北九州市情報セキュリティ基本方針・対策基準 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	
								ターゲット	具体的な取組
								16.3	社会(2)ウ
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> SDGsを推進する社内体制の構築 従業員で2030年の世界での自社のありべき姿を議論し、SDGsを使ってそれを達成するための計画を作成 SDGs宣言を北九州市ホームページに開示 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	社会(4)③
								ターゲット	具体的な取組
								12.6	

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月30日

団体名 北九州市公営競技局

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

小倉競輪・ボートレース若松が選ばれるレース場として、市民から信頼され、必要とされる存在となって、職員が働きがいを実感できる地方公営企業であり続けること

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	経済、社会、環境の3つの側面が調和する事業活動を行う、他4つの取組 (https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000925835.pdf 参照)	指標 (KPI)	市民イメージ調査で、小倉競輪・ボートレース若松の収益金が北九州市の財源として役立てられていることを認知している割合	指標
社会	○		目標値		経済 (3) ①
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	2018年度 舟券購入未経験者39% 舟券購入経験者63% ↓ 2030年度 車券・舟券購入未経験者90% 車券・舟券購入経験者90%	具体的な取組
経済			指標 (KPI)	小倉競輪・ボートレース若松が地域や社会に役立っていることを認知している割合	指標
社会			目標値		環境 (4) ①
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2018年度 車券・舟券購入未経験者64%・59% 車券・舟券購入経験者87%・82% ↓ 2030年度 車券・舟券購入未経験者90% 車券・舟券購入経験者90%	具体的な取組
経済			指標 (KPI)	公営競技局職員が公営競技事業に共感し、その一員としての働きがいを感じている割合	指標
社会			目標値		
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2030年度 100%	具体的な取組
					社会 (1) イ

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 公営競技局

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
北九州市SDGs未来基金積立金や子ども医療費支給事業等の北九州市の事業に、公営競技事業会計繰入金50億円を活用	別紙「公営競技事業会計繰入金の活用について」参照
6 【SDGsクラブプロジェクト】 北九州みらいキッズプロジェクト (出張こども大工編)	小倉けいりんとボートレース若松がスポンサーとして参加（令和3年度は3回）

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。